

快適な住空間をめざして

ALIA

Association of Living Amenity

一般社団法人リビングアメニティ協会 (ALIA) は、
住宅設備および建材に関わる企業・団体で構成される法人です。

快適な住空間の提供をめざし、
調査研究や情報の収集・発信に積極的に取り組んでいきます。

一般社団法人 リビングアメニティ協会

ご挨拶

一般社団法人リビングアメニティ協会(ALIA)は、1976年に設立された優良住宅部品(BL部品)の開発・普及促進を目指すBL推進協議会を、1990年10月に発展的に改組して誕生し、2012年4月に一般社団法人として法人化されました。住宅設備および建材に関わる企業・団体が力を結集し、「優良な住宅部品の供給・普及と、住宅部品の点検を核とした優良住宅ストック社会実現への貢献」を目指し、住宅部品・住空間に関わる様々な活動を進めています。

昨今の住宅業界では、解決すべき多くの課題を抱えつつ大きな変革期を迎えていると認識しております。ロシア・ウクライナ、中東など世界情勢の不安定要因は、資材・エネルギーコストや輸送・物流コストの高騰などをもたらしています。国内では、能登半島地震被災地の復旧・復興が続いておりますが、気候変動含めて激甚化する災害への備えは急務です。

気候変動問題への対応は世界共通の課題となり、日本においてもグリーントランスフォーメーション(GX)やカーボンニュートラル実現に向けて高い目標が定められています。住宅・建築物においても、住宅省エネ基準の適合義務化やZEH対応、既存住宅の省エネ改善等省エネルギーの徹底や、再生可能エネルギー導入拡大など、国の施策が強く進められています。

住生活においても、在宅勤務や働き方改革、家事負担軽減など新たな生活様式から生まれるニーズへの対応が強く求められています。多様化する価値観に合わせるため、新しい技術・サービスの実現や住宅部品の機能・安全性の向上が重要なテーマです。

従来からの課題である少子高齢化・人口減少の急速な進展、リフォーム・既存住宅流通等の住宅ストック活用型市場への転換、自然災害に対するレジリエンス向上などに加えて、生産・物流現場における人手不足・労働環境改善の問題、子供の貧困問題などの社会課題も顕在化してきています。業界の果たすべき役割と責任は、とても大きいと考えます。

このような状況の中、当協会では部会や委員会等を中心とした事業活動を展開しております。住宅部品の省エネ性能の向上を図りつつ、良好な温熱環境整備やヒートショック予防など、健康で快適な住生活の普及を推進し、リフォーム需要の喚起や優良住宅ストックの形成を促進し、社会ストックとして質の高い住宅部品・住空間づくりと脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

2020年に制定した「住宅部品×SDGs宣言」に基づく「こども応援プロジェクト」などの事業活動が、社会課題の解決や住宅産業の持続的発展に寄与することを意識しながら、安全・安心で快適な住生活の実現を目指してまいります。

安全・安心で快適な住生活実現のためには、住宅部品について適切なお手入れや点検を行い、良好な状態で使用することが重要です。当協会では10月10日を「住宅部品点検の日」と定め、住宅部品の使用や利用に関する調査研究やシンポジウムを通じた情報発信により、お手入れや点検の意識や価値観を広く普及させる取り組みを行ってまいります。

当協会は、国土交通省をはじめとする関係省庁や団体、関係者の方々との連携を強化し、会員企業・団体の皆様や社会から必要とされる存在を目指してまいりますので、皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

最後に、当協会の理念やミッションにご賛同いただける企業のご参加と積極的な活動へのご参画をお待ちしております。



一般社団法人
リビングアメニティ協会 会長

内藤 弘康

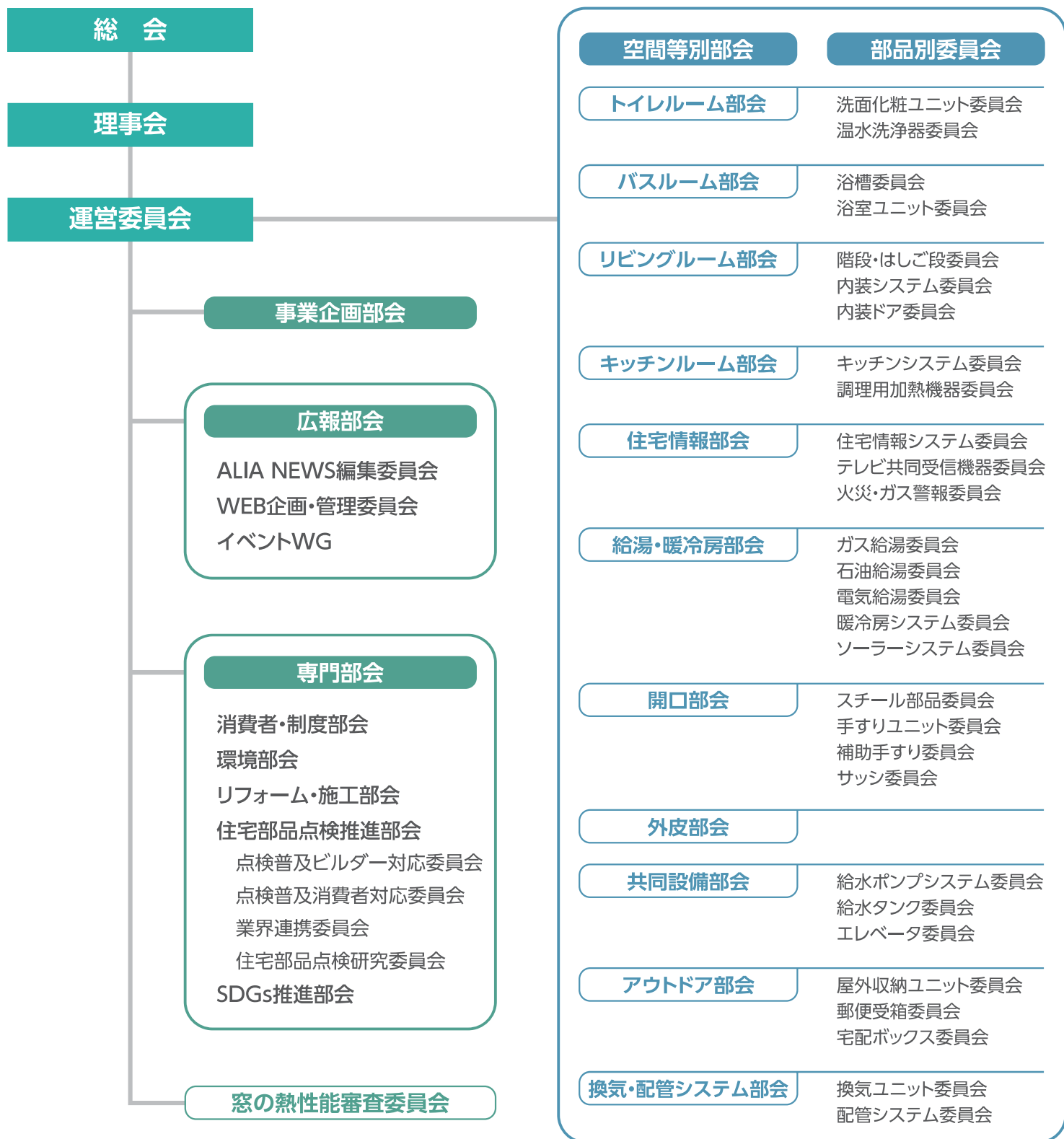
活動内容

- 優良な住空間の在り方及びその形成方法に関する調査研究
- 住宅部品の機能、性能に関する調査研究
- 優良な住宅部品に向けた技術、システムに関する調査研究、開発等
- 住宅部品の供給(流通を含む)や施工に関する調査研究
- 住宅部品の使用、利用に関する調査研究
- 住宅部品に関する情報の収集、提供及び優良な住宅部品の普及、啓発
- SDGs(持続可能な開発目標)への貢献活動
- 政府、関連団体等に対する提言、要望及び意見具申等

協会概要

- 会 員 数：正会員105社、賛助会員17社・団体(2026年4月現在)
- 会長・副会長会社：リンナイ(株)／TOTO(株)／(株)ノーリツ／パナソニックハウジングソリューションズ(株)／(株)LIXIL／YKK AP(株)
- 理事・監事会社：(株)稲葉製作所／(株)荏原製作所／大阪ガス(株)／クリナップ(株)／三協立山(株)／積水化学工業(株)／DAIKEN(株)／タカラスタンダード(株)／東京ガス(株)／ナカ工業(株)／(株)パロマ／不二サッシ(株)／三菱電機(株)／美和ロック(株)／(株)ヨドコウ／三和シャッター工業(株)／パーパス(株)

委員会活動内容の紹介



専門部会

住宅の省エネルギー化への対応、リフォーム需要の拡大への対応、長期使用時の安全安心な住宅部品のあり方の追求、優良住宅部品の普及促進、情報の収集と発信等々、数多くの住宅部品メーカーで構成される団体ならではの、横断的な活動を行っています。また、行政の動向をいち早く知ることができたり、行政に対し提言できる場が設けられたり等のメリットがあり、会員相互の情報交換も活発に行われています。

空間等別部会

バス、トイレ、キッチン等各空間の観点から、上記専門部会の活動内容に関するテーマを行っています。また、その空間に関わる住宅部品メーカーが集まって、その空間独自の課題を抽出し、調査検討を行っています。別途、講習会や工場、施設等の見学会も企画開催されますので、知識の蓄積や見聞を広めること、さらには会員相互交流により自社レベルアップをはかるのにも有効な活動を行っています。

住宅部品の基礎知識 アメニティCafe

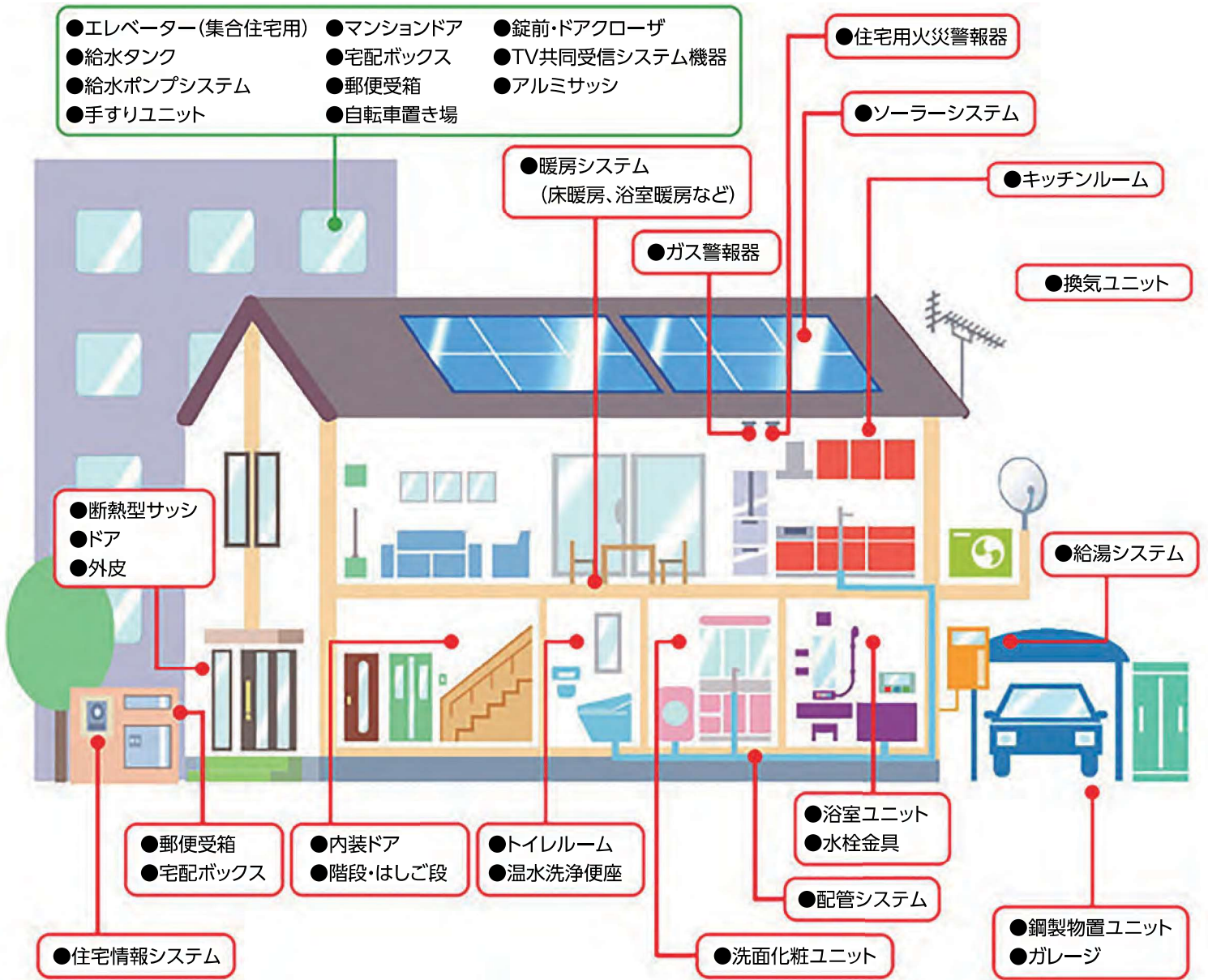
住宅部品や建材について、機能や注意点、お手入れなどの基礎知識の他、設計・施工や維持管理の際に確認していただきたいことを解説しています。

詳細はHP

アメニティCafe

検索

<https://www.alianet.org/amenitycafe/>



出版物等



住宅部品統計ハンドブック



自分で点検!ハンドブック



経年劣化スタディブック

- 住宅部品の自主点検表
- 内装建材の警告表示に関するガイドライン
- 住宅部品VOC表示ガイドライン
- 換気設計事例集
- デジタル放送対応テレビ 共同受信機器システムカタログ

住宅部品点検の日

長期に渡って、良質な住宅ストックを維持し、安全で快適な住生活を送るためには、住宅部品をきちんとお手入れ・点検し、必要に応じて交換、修理をすることが重要になります。

これまで、当協会では、「住宅部品の長期使用に関する研究会」で調査・検討し、その成果として「自分で点検!ハンドブック」「住宅部品の自主点検表」等の発行・公表を行うとともに、各種住宅部品取扱説明書等に点検活動に関する記載の充実を勧めています。一方で、広く居住者の意識を醸成していくことも必要であることから、住宅部品をご使用されているお客様に対して、お手入れや点検の意義をご認識いただくこと、そしてより安全に、安心して快適にご使用いただくことを目的として、2012年に「住宅部品点検の日」を制定し(10月10日)、毎年シンポジウムを開催しています。



詳細はHP

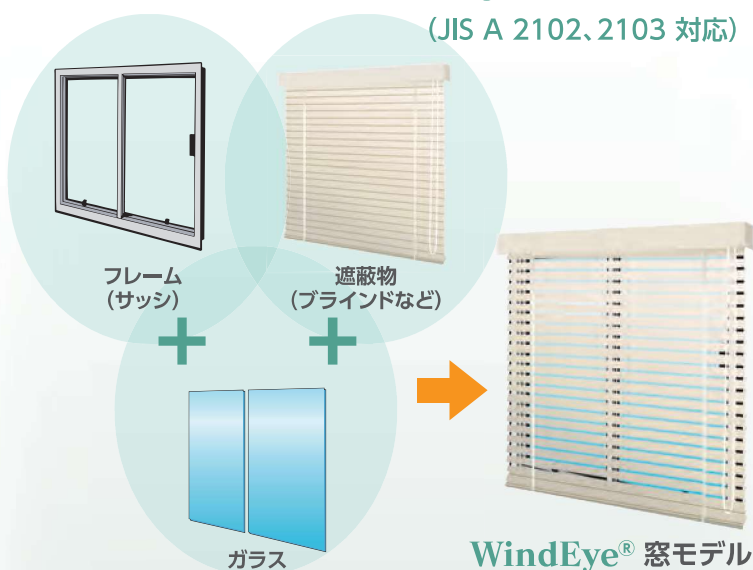
検索

<https://tenken1010.org/>

窓の総合熱性能評価プログラム

WindEye®

(JIS A 2102、2103 対応)



WindEye® で窓全体 (フレーム+ガラス+遮蔽物) の熱貫流率 (U値)、日射熱取得率 (η 値) を任意の窓サイズで計算可能
↓
「省エネ基準」に対応できます

詳細はHP

検索

<https://www.alianet.org/windeye/>

WindEye® の特長

- フレーム、ガラス遮蔽物を一体として評価しています。
- 窓の熱性能を評価する国内唯一のプログラムです。
- 窓、ガラス中央部、玄関ドアの3つの性能の検討が行えます。
- 一度計算した結果は、いつでも取り出せます。
- プログラムの操作は簡単で誰でも扱えます。
- ALIAのホームページから無料でご利用できます。

窓の熱性能審査委員会

窓の断熱性能を評価するプログラムWindEyeを開発しました。個別の製品であるサッシ、板ガラスを任意に組み合わせた時の窓の熱貫流率を任意の窓サイズで計算可能となっています。省エネ基準への適合も判断できます。日射熱取得率対応版もあり、個別の製品であるサッシ、板ガラス、ブラインドを任意に組み合わせた時の日射熱取得率の計算に対応しています。

窓の熱性能審査委員会では、これら評価プログラムの機能充実により、窓種の拡充等を図っています。また登録商品数を増加し、より多くの窓に対する情報を提供できるようにするとともに、利用拡大に向けた普及啓蒙を行っています。

SDGs(持続可能な開発目標)への貢献活動

当協会は、暮らしを支える住宅部品のメーカー等の集団として、「誰一人取り残さない」を基本理念として全ての人の生活の豊かさを目指すSDGs(国連が掲げる持続可能な開発目標)の達成に貢献することは、重要な使命と考えています。

ALIAでは2つの観点から、SDGsに貢献していきます。

- ①ALIAと住宅部品メーカーである会員企業は、モノづくりを通じて、省エネ、節水、健康など多くの分野で、SDGs達成に貢献していきます。
- ②「モノづくりを通じた取り組み」だけでは貢献に限界がある
「貧困」「飢餓」「平和と公正」などの社会問題分野では、新たな取り組みとして「ALIA子ども応援プロジェクト」として、「子ども食堂」への支援をスタートしています。
(「ALIA子ども応援プロジェクト」は2025年度まで実施予定)

※詳しくは、ALIAホームページ

「SDGs(持続可能な開発目標)への貢献活動」をご覧ください。

<https://www.alianet.org/guides/sdgs/>



「住宅部品×SDGs」宣言

優良な住宅部品の開発・供給・普及を通じ、SDGsの達成に貢献することを宣言しました

(2020年10月)

ALIA 子ども応援プロジェクト

未来を担う「子ども」を応援するため、「子ども食堂」への住宅部品等の無償提供をスタートしました

(2022年度から)

モノづくりを通じた取り組み

給湯設備の効率化(省エネ等)

2050年カーボンニュートラル実現に向けて、住宅における一層の省エネが求められています。住宅におけるエネルギー消費量の約3割を占める給湯設備は、2000年以降、劇的に省エネ化が進展しています。

- 2000年：エコジョーズ(潜熱回収型ガス給湯器)
- 2001年：エコキュート(自然冷媒CO²ヒートポンプ式給湯機)
- 2006年：エコフィール(潜熱回収型石油給湯機)
- 2009年：エネファーム(家庭用燃料電池コジェネレーションシステム)
- 2015年：エコジョーズとヒートポンプユニットを組み合わせたハイブリッド給湯暖房システムなど



当協会では、
会員企業や関係団体とともに、
高効率給湯機の普及活動を
展開しています。

窓の熱性能の向上(省エネ・健康等)

住宅における屋外との熱の出入りのうち、窓などの開口部からのものが過半を占めており、冷暖房の省エネには、窓の熱性能向上=熱の出入りの抑制が有効です。

1980年代からサッシの断熱化が進められ、2020年の出荷量は、素材別では熱伝導が少ない樹脂サッシとアルミ樹脂複合サッシが8割超、ほぼ全てに複層ガラスを取付、Low-Eガラス(低放射ガラス)が85%程度と、断熱化が著しく進展しています。そして既存住宅の断熱性能の向上を図るため、既存サッシの内側に樹脂製サッシ取り付ける「断熱内窓」設置工事など、断熱リフォームを促進しています。

窓の断熱性能の向上は、エネルギー使用量の抑制のみでなく冬の冷気を防ぐなど居住者の温熱環境の向上に寄与し、健康・快適な暮らしを実現します。



当協会では、
会員企業や関係団体とともに、
断熱性向上に貢献する
窓の普及活動を展開しています。

トイレの節水化等(節水・省エネ等)

トイレの洗浄水量(大洗浄)は、1970年代の約13リットルから、2020年代には5リットル以下が主流となり、節水率は6割超となっています。「節水」は、住宅におけるエネルギー消費量にはカウントされていないものの、上水の取水・浄水・配水と、下水の浄化等のための使用エネルギーの抑制を通じて、気候変動対策に寄与するものです。節湯水栓(シャワーヘッド等)は、「節水」とともに、お湯を作るための使用エネルギーも抑制します。



当協会では、
会員企業や関係団体とともに、
これらの節水・省エネ機器の
普及活動を展開しています。

住宅部品の長寿命化(安全・廃棄物削減等)

住宅部品を安全・快適に長期間使えるよう、住宅部品メーカーは製品の長寿命化に向けて研究・技術開発を進めています。

長期間使用ができれば、ユーザーにとっては経済的であるとともに、環境にとっては取替サイクルが長くなり廃棄物の削減にも寄与します。

しかし、工業製品である限り、経年劣化は避けられません。一般的に、故障発生率は、一定の期間を経過すると、急激に増加する傾向にあり、突然の故障や事故発生は、生活利便性の低下や、修理・取替等の不満が残ることになりかねません。



詳細はHP

<https://tenken1010.org/>

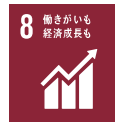


当協会では、
住宅部品の「日常的な点検」の
普及活動を展開しています。

「住宅部品×SDGs」宣言

当協会設立30周年(2020年10月)を機に今後10年間の優良な住宅部品の開発・供給・普及等といった事業活動において、SDGsの達成に貢献することを、一般財団法人ベターリビングと共同で「住宅部品×SDGs」宣言として発表しました。

関連するSDGs



<https://www.alianet.org/guides/sdgs/declaration/>

「ALIA子ども応援プロジェクト」の推進

当協会は2022年度から、未来を担う子どもを応援する「ALIA子ども応援プロジェクト」を開始し、「子ども食堂」への住宅部品等の無償提供をはじめています。

子どもの貧困対策等として各地のNPO等が始めた「子ども食堂」が、地域の様々な課題に対応するため、居場所づくり・学習支援など幅広い活動の場づくりへと発展し、SDGsの基本理念「誰一人取り残さない」に調和する活動と評価されています。しかしながら、「子ども食堂」は、公的制度ではなく、その活動は寄付等で賄われている場合が多く、人手や食材の確保とスペースの環境整備に苦慮しています。

当協会では新設・改修等を行う「子ども食堂」に対して、会員企業の商品等を無償で提供しています。「子ども家庭庁」が子ども支援策の一環で設置している「マッチングネットワーク推進協議会」※を活用し、住宅部品や家電機器等のほか、出前講座の実施など、全国各地に幅広く支援を実施しています。

2023年度までの寄贈実績例



断熱内窓



インテリア畳



屋内用ガス小型湯沸器



強化ガラス食器



ガステーブルコンロ



企業ミュージアム見学

当協会からの「子ども食堂」への支援は、「マッチングネットワーク推進協議会」の構成団体のひとつである「認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ」が担っており、協働で支援を実施しています。



詳細はHP

<https://www.alianet.org/guides/sdgs/project/>



●電車でのアクセス

JR飯田橋駅 東口・西口 徒歩3分

東京メトロ南北線 有楽町線 東西線 都営大江戸線

飯田橋駅 A4 出口 徒歩2分

一般社団法人 リビングアメニティ協会

〒102-0071 東京都千代田区富士見二丁目7番2号

ステージビルディング 6階

TEL.03-5211-0540 FAX.03-5211-0546

ホームページアドレス <https://www.alianet.org>

